

## 「生涯学習・社会教育関係職員研修講座（中南地区研修）」

日時：平成27年6月25日（木） 会場：平川市文化センター

### 1. 事例発表：「学びと社会参加を通じた人財育成」

生涯学習・社会教育関係職員研修講座（中南地区研修）が6月25日（木）、平川市文化センターで実施されました。約70名の社会教育関係職員が参加し研修が行われました。午前中の事例発表ではつるた街プロジェクト代表 岡 詩子 氏、プロジェクトおおわに副理事長 相馬康穂 氏より事例発表をしていただきました。岡 氏からは「学びのきっかけと社会参加活動の在り方」、相馬 氏からは「新しい地域づくりのための社会参加の在り方」というテーマで活動実践のお話をしていただきました。受講者は真剣な表情で話を聞いていました。

#### （1）事例発表①

#### つるた街プロジェクト

代表：岡 詩子 氏

#### 【活動例】

- ① “TSUmap”（フリーペーパー）の発行
- ② コネクトパーティー（みんなともだち）
- ③ 星空のキャンドルナイト in 鶴田
- ④ 商店街を使ったリアル作家イベント など

※ Facebook を使って鶴田を世界に発信

（時間も距離も関係なく使えるのがインターネット）

#### 【キャッチフレーズ】

“ 楽しい町民の、楽しい町民による楽しく、でもちょっと真面目な町活性化プロジェクト ”



#### （2）事例発表②

#### プロジェクトおおわに事業協同組合（鰐 COME）

副理事長：相馬 康穂 氏

#### 【活動例】

- ① コミュニティビジネスの実践
  - ② ふるさと教育（第4の教育）の実践
  - ③ ホスピタリティ世界ーを目指す
- ※ マニュアルにない感動の提供
- ④ 大鰐町元気隊（地域資源丸ごと活用など）
  - ⑤ キッズグループ（3つの体験）

（1 清掃活動 2 被災地支援 3 野菜作り）

- ⑥ 産直の会など3つの会を組織（継続的なまちづくり・まちおこし）

など



◎ 講師のお二人からは地元に対する愛着と本気の取り組みを聞くことができました。

## 2. 講演：「新しい地域づくりのための社会参加の在り方」

午後の講演は弘前観光コンベンション協会事務局長 **坂本 崇 氏**より「新しい地域づくりのための社会参加の在り方」というテーマで講演していただきました。御自身の取り組みから観光まちづくりの活動を参考として講演していただきました。またユニークな取り組みも紹介していただき、受講者の方々はお話に関心入っていました。

坂本 崇 氏



講演の様子



### 【まちづくりのキーワード】

“無いものねだりをする前に「あるもの活かし」”

- ・当たり前すぎて見えなくなっている
- ・つまらないものだと思い込んでいる
- ・近すぎて見えない地域に存在する**宝物**は意外に多い



地域にあるものは、全て何かの必然から生まれたもの。その歴史や特性を見つめ、その本質を活かすことから他所とは違う「**宝物**」や「**物語**」を発見する。

### Civic pride (シビックプライド)

市民が自分の住んでいる、働いている都市に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らもこの都市を形成している1人であるという認識を持つこと。日本人が古来より持っている「郷土愛」とは意味合いが異なり、より積極的に都市に関わっているという意識を持つこと。

◎ **講師の方からは地域づくりの新たな発想や考えを聞くことができました。**

〈 講師プロフィール 〉



#### 岡 詩子 氏 (つるた街プロジェクト 代表)

つるた街プロジェクト代表。手縫い作家、色彩コーディネーター2級・精神対話士などの資格を取得するなど多方面にわたり活躍されている。現在、第12期青森県生涯学習審議会委員を務めている。



#### 相馬 康穂 氏 (プロジェクトおおわに事業協同組合 副理事長)

青森県商工会青年部連合会会長、全国商工会青年部連合会副会長などを歴任し、現在、プロジェクトおおわに事業協同組合(鰻 come)の副理事長を務めるとともに、弘前大学や青森公立大学においても講師を務めている。



#### 坂本 崇 氏 (弘前観光コンベンション協会 事務局長)

弘前観光コンベンション協会事務局長。津軽地域観光団体事務局連絡会議代表、津軽ひろさき街歩き観光実行委員会 事務局長などを歴任し、街歩きガイドグループ「路地裏探偵団」をプロデュースしている。